

~ 途上国で関心高まるGreen Economy

最近のトレンドと JICAの取り組み

JICA地球環境部 審議役 兼次長 宍戸健一



G7環境大臣会合(2016年5月)

★成果文書(抜粋) ~環境省HPより

4)生物多様性

生態系サービスへの支払等の経済的アプローチを活用した生物多様性の保全についてG7メンバーの経験を基に議論を深め、結果として同アプローチを進めることが重要であることで一致。また、遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分、野生生物の持続可能な利用、野生生物の違法取引への対処、違法伐採への対処、そして海洋生物多様性の保全と持続可能な利用といった課題も、経済的アプローチとリンクしながら、我々G7メンバーが今後引き続き取り組むべきものであるという認識で一致。

5) 気候変動及び関連施策

(前略) 低炭素社会の実現に向け、効果的・効率的な政策手段を組み合わせて国内対策をとることや、環境・社会・企業統治(ESG)投資の促進及び金融システムのグリーン化を通じた経済システムの転換が必要であることを認識。また、市場アプローチを含むカーボンプライシングはイノベーション及び低炭素投資の強化に効果的な手段であり、更に促進されるべき旨、強調。(後略)



★シンポジウム結果 ~JICAのHPより(抜粋)

【シンポジウムの結果】

(前略)特に今回の議論のテーマであった、REDD+の実施を通じた途上国の持続可能な開発・発展の実現を実現する「グリーン経済」について議論が展開されました。民間セクターの事例を通じ、温暖化対策と村落開発などを同時に達成しうる「ビジネスモデル」の構築は可能であり、途上国におけるグリーン経済開発を実現するための民間企業に対するインセンティブとしてのREDD+、という新しい考え方が共有されました。

【JICAの今後の取組み】

JICAとしては、この新しい考え方を生かし、今年11月にモロッコ・マラケシュで開催される第22回国連気候変動枠組条約締約国会議(UNFCCC COP22)サイドイベントの開催や関連案件の形成、国際機関との連携などに取り組んでいきます。また加盟団体が80を超える「森から世界を変えるREDD+プラットフォーム」を通じ、引き続きREDD+の活動推進に向け、日本の官民を含むオールジャパンの協働により、地球温暖化対策とグリーン経済開発に貢献していきます。



『グリーン経済開発とREDD+』が打ち出された背景

【現状認識】

- ①FCPFなどスケールの大きなREDD+の実施資金が本格的に始動 (プロジェクトレベルを許容しない排他的な仕組みになる危険性)
- ②パリ協定により、自国のGHG排出削減計画にREDD+を見込んでいるため、クジレット発行に慎重な姿勢も(例:インドネシア)
 - →JCMを推進するのであれば今!

【ブレイクスルー】

- ①JCM-REDD+の途上国にとっての魅力を最大限に打ち出す
 - 1)アップフロント資金(民間企業による投資)
 - 2)経済効果、雇用創出
- ②JCM-REDD+の民間企業にとっての魅力をアピール
 - 1)ビジネスチャンス(排出権取引+自社製品の販路拡大)
 - 2)認証によるブランド化(国際貢献)



1. プロジェクト紹介(兼松様の事例)

Name Boalemo REDD+ Project

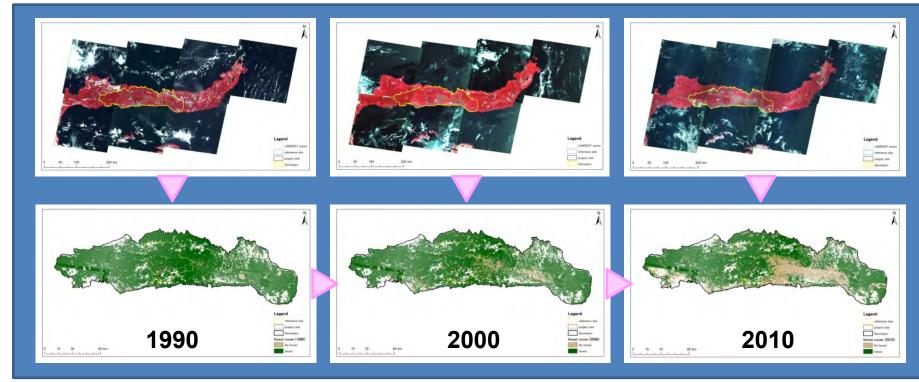
Implementer Gobel Group & Kanematsu Corp.

Location Gorontalo Province





2. Deforestation and GHG emission in the Province



- 1) Emission from Forest and Land Use
 About 1 million t CO2-e/ year
- 2) Major Driver of deforestation

 Slush and burn agriculture





3. Promoting Green Economy...

To reduce deforestation....

Local Gov't and Private sector jointly worked together to promote cacao planation as a high value commodity.

1) Activities

- (1) Distribution of seedlings
- (2) Agricultural extension (Demo farm etc.)
- (3) Value chain (export to Japan /Europe)

2) Cacao Production Target

year 2014 5,000 t

year 2020 8,500 t



3) Contribution to Local Economy about 8 million USD (estimated)





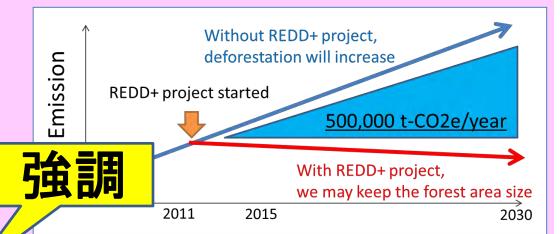


4. As a REDD+ Project

1) Potential of Emission Reduction

about 500,000 t-CO2e/year

- 2) Co-Benefit
 - Local economy
 - Bio-diversity
 - Watershed Management,,,



3) Credit thru JCM

assuming 200,000 t-CO2e/year going to Private Sector

> equivalent to 1 million USD ?) ⇒ more Profitable business model

"A Strategic REDD+ implementation for promoting Green Economy by Private sector"



日・メコン諸国首脳会議(2016年9月)

★共同声明より ~外務省のHPより(抜粋)

人間の安全保障とグリーン・メコンの実現

15. 首脳は、メコン地域における干ばつ・塩水遡上や水害被害等の自然災害による影響に懸念を表明し、自然災害及び気候変動に伴う災害に対する強靭な社会の構築により、メコン地域の持続可能な発展、人間の安全保障及び水資源管理を実現することの重要性を強調した。首脳は、2016年6月13日に日本とタイが共催した第4回グリーン・メコン・フォーラムにおいて、セクターを越えた知見の共有と意見交換が行われたことを高く評価した。

16. 首脳は、メコン河の水及び関連資源の持続的管理・開発の死活的重要性並びに地域及び国際機関、特にメコン河委員会(MRC)との協力を継続することを再確認した。この観点から、メコン諸国の首脳は、日本によるMRCの洪水及び渇水プロジェクトに対する支援に謝意を表明した。また、日本の首脳は、メコン河の環境保全に関する更なる貢献を行う意向を表明し、メコン諸国の首脳はこれを歓迎したく注〉。(後略)

<注>首相発言内容では、「メコン河流域の環境保全,特に<u>森林資源の保護に資するプログラム</u> 形成のため,調査を開始したい。」



メコン河イニシアティブ(参考アイデア)

Basic Concept of Landscape Approach in Mekong Basin





メコン河イニシアティブ(参考アイデア)

Implementation Structure of Regional Program (tentative)

Steering Committee

- 1) Representative of Member Country (focal person)
- 2) Representative of JICA (HQ/Country Office/Expert)

Cambodia

1) TBD

2) TBD

Lao PDR

1) TBD

2) TBD

広域協力

- ①1か国1モデル流域のビジネスモデル 構築(プログラム形成)
- ②メコン河委員会(MRC)と連携
- ③経験共有・グリーンビジネスフェア等
- ④他事業・スキームとの連動

Myanmar

- 1) TBD
- 2) TBD

Country Team

- 1) Focal Person
- 2) Working Team

Landscape JCM-REDD Pilot Project

Vietnam

- 1) TBD
- 2) TBD

Country Team

- 1) Focal Person
- 2) Working Team

Landscape JCM-REDD Pilot Project

Thailand

- 1) TBD
- 2) TBD

Country Team

- 1) Focal Person
- 2) Working Team

Landscape JCM-REDD Pilot Project

JICA Implementation Unit

JICA Expert(s) Consultant team
 Location of Implementing Unit: TBD

Regional Activities
In collaboration w/MRC?



今後の取り組み

①UNFCCC・COP22サイドイベント(11月8日午前)

~国際社会でプロジェクト型REDD+の有効性アピール

Organizer	Japan International Cooperation Agency (JICA)
Co-organizer	UN-REDD Secretariat Green Climate Fund Ministry of Environment and Forestry, Indonesia [TBC] Mekong River Commission and other ASEAN counties
Title	REDD+ Implementation for Green Economy: Creating an enabling environment for the private sector
Theme	Private sector engagement is widely recognized as an indispensable element of the green economy development. This session reviews how policy, technology and financing mechanism help the private sector to transform itself into a green economy business model.

②国内向けアピール

~日刊工業新聞共催イベント等(12月頃予定)



Thank you for your attention!

JICA

Inclusive and Dynamic Development